



垂水市立 協和小学校

児童数	36人
学級数	5クラス



テーマ

小規模校における児童の自己肯定感の確立とよりよい人間関係の育成をめざす教育活動

研究に当たって(テーマ設定の理由)

本校の多くの児童は、素直で明るく、友達と仲よく元気に学校生活を送っている。しかし、学校楽しいーと等のアンケートや児童・保護者との教育相談等で、「自分のよさに気付けないまま、自信がもてない。」や「学級の一員として認められていない。」「学級のみんなの役に立っていると思えない。」という児童がいることが明らかになった。そこで本年度は、全職員が人権教育について深く学び、児童の自己肯定感を確立するために、どのような授業を展開すればよいかを学ぶきっかけづくりに加え、保護者と連携を取りながら学校全体でより具体的に人権教育を進めていくことをねらいとした取組を行った。

研究スケジュール

- 4月20日(月) 職員研修「研修計画」
 - 5月25日(月) 職員研修「人権同和教育」
 - 8月3日(月) 職員研修「授業づくり」
 - 9月9日(水) PTA人権教室
 - 11月10日(火) 人権教室
 - 11月30日(月)～12月4日(金) 校内人権強調週間
 - 12月3日(木) 人権集会
 - 1月18日(月) 職員研修「研究のまとめ」
- ※「学校楽しいーと」の実施(年3回)

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 職員研修(全職員・1時間)

1学期に、職員研修において「人権教育は全ての教育の基本」と題し、講師の先生と一緒に、実態に基づいた授業の展開や言葉掛け等を協議した。コロナ禍における様々な差別や人権問題について学び、人権尊重の視点に立った学校づくりの一環として、自尊感情を高めるための参加型学習(M o mの基本的な姿勢)について研修を深めた。

□ PTA人権教室(全保護者・1時間)

2学期前半に、全保護者対象に、PTA人権教室「みんなで進める人権教育」を実施した。女性への暴力防止運動や児童虐待防止運動等、保護者の直面する様々な人権問題について学び、子どもの自尊感情を育むための関わり方を研修した。特に言葉掛けにおいて、「話す」の基本「わたし・メッセージ」で伝える術をワークシート等で演習した。

□ 人権教室(全児童・1時間)

2学期後半に、全児童対象に、人権教室「じんけんについて考えよう」を実施した。『じんけん』ってなあに?と児童に問い掛けながら、自分の人権も友達の人権も大切であることを学んだ。ルールが守れなかったことなどの事例を基に、ワークショップ型の縦割りグループの演習をした。「一緒にならぼう。」や「一緒にきれいにしよう。」などアイメッセージの発表もあり、みんなが笑顔になるための言葉掛けについて、より深く学び合うことができた。



【職員研修】



【人権教室】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

□ 成果

- ・ 職員研修で、全職員でチーム学校としての具体的な取組を実践することができ、職員の言葉掛けや関わりが「より深く見つけ」「より強く思いをめぐらせ」「よりたくさん向き合う」姿に変容してきた。
- ・ PTA人権教室を通して、保護者のより深く子どもと向き合おうとする意識が高まった。
- ・ 児童が人権について考える機会を意図的に設定したことで、自分のよさに気付くとともに、周りの友達を認めようとする態度が育ってきた。

□ 課題

- ・ 2度目の「学校楽しいーと」で、自己肯定感が育ってきている児童が多く見られたが、1回目と変わらない児童や逆に自己肯定感が下がっている児童もいることから、引き続き、保護者と連携を図り、全職員で向き合っていく必要がある。
- ・ 今年度の学びを来年度の教育課程に生かし、協和校区の地域全体に人権教育が広がるように工夫改善していきたい。